

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第二次整備提案書



### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	東山田工業団地に案内板、掲示板、会社マークを設置
提案グループ名	つづきっず、はい！
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	都筑区東山田4丁目
施設整備の概要	<p>① 準工地域入口に地域のマップと企業を紹介する機能をもつ「東山田エリアマップ」を1箇所設置します。</p> <p>② 住民と企業双方が情報発信する情報掲示板「@ME-ET」(アットミート)を3箇所設置します。</p> <p>③ 迷いやすい地域なので道案内の目印になる「POINT ART (ポイントアート)」を6箇所設置します。</p> <p>④ 「東山田エリアマップ」「花壇」設置場所に花壇を作ります。</p>
整備助成金申請 予定額	330万円
設計及び整備の スケジュール	<p>【2月～4月】シンボルマークの募集及び決定</p> <p>【4月～6月】情報掲示板「@ME-ET」(アットミート)の設計、施工</p> <p>【6月～11月】「東山田エリアマップ」「花壇」の設計、施工</p> <p>【9月～12月】「ポイントアート」の設計、施工</p>

### 2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>① 「東山田エリアマップ」～地域の課題解決から魅力の発信へ～ 数回のワークショップを通じて、住工混在のこのまちの特性を活かした魅力発信が隠れたテーマであることに気づきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住・工共生」をテーマにしたシンボルマークのデザインを地域から募集し、製作の過程を共有することで住民と企業の相互理解の向上を目指します。</li> <li>・各企業を地元中学生たちが取材し、子どもたちが感じたその企業の特徴を「東山田エリアマップ」に掲載します。</li> <li>・道に迷う来訪者がわかりやすいように街の入口に設置します。</li> </ul> <p>② 情報掲示板「@ME-ET」(アットミート)～ここで知って出会う～ 企業と住民が交わるきっかけづくりの場を目指します。オープンファクトリーやワークショップなどのイベント情報、企業のもつ防災・防犯情報、中学生職場体験の報告などをお知らせします。 QRコードでリンクした「つづきっず、はい！」のホームページでより細かなイベント情報を知ることができるように発信します。</p> <p>③ 「POINT ART」(ポイントアート)～示して探るアート～ 複雑な地形のため、初来訪者は迷子になりやすい。そこで主な交差</p>
---	--

	<p>点に標識を設置することで道案内をしやすくします。形状は統一し、色やデザインはワークショップで作っていきます。</p> <p>時には6つのポイントアートを使って、クイズラリーや謎解きといった探検ツールとして活用します。</p>
<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p>	<p>エリアマップにつける企業プレートは「つづきっず、はい！」加盟6社と地元中学生が企画段階から参加して創作することになっています。また設置場所の整備や、花を植えるなどの空間づくりも、地元の子どもたちと一緒にいきます。</p> <p>このように整備段階も企業と住民が協力することで交流を促します。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5)</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p><small>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</small></p>	<p>維持管理及び運営は、「つづきっず、はい！」が行います。</p> <p>また「つづきっず、はい！」が簡単な修繕を準工業地域の企業に依頼する予定です。</p> <p>①エリアマップ 花壇の管理などは「つづきっず、はい！」で行います。イルミネーションなど季節にあわせたしつらえも計画しています。</p> <p>②情報掲示板 子供たちが企業を取材したレポートを発表するなど、企業と住民の交流が生まれる場として活用します。</p> <p>③ポイントアート 企業見学やものづくり体験などができる野外プログラムなどのイベントの際は、ポイントアートを使ってクイズラリーや謎解きなどの仕掛けをして、楽しんで使用できるような工夫をする予定です。</p>

### 3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>【地権者等】エリアマップ、掲示板、ポイントアートそれぞれの地権者、使用者には丁寧に活動、提案内容を説明し了承を得ている。</p> <p>【町内会】東山田4丁目町内会の了承を得ている。</p> <p>【東山田準工業地域をまもる会】総会にて日頃の活動、今回の提案内容について説明、合意をもらう。その後理事はメンバーとして中心的に活動してくれている。</p> <p>【近隣中学生】これまでも学校支援地域本部の協力のもと中学生と一緒に「防災マップ作成」や「職場体験受け入れ」を行うなど地元中学校との連携はできており、良好な関係を維持している。こどもたちと一緒に製作することに問題はない。</p> <p>【土木事務所】「東山田エリアマップ」へのアプローチ部の植栽の移植についての了承を得ている</p> <p>【近隣住民】これまで行ったオープンファクトリーイベント（パン教室、キーホルダー作り）やまちづくりワークショップに参加してくれた近隣住民の合意は得ている。</p>
--	--

### 4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくら</p>	<p>既にこのまちのルールを策定している「東山田準工業地域をまもる会」と連携した計画を作成しています。住民と企業が共生する住みよい、働きやすいまちを目指し、良好な関係づくりを目的としています。</p> <p>① エリア内は地図や目印が無いいため、道に迷いやすく位置を伝えにくい。案内板の設置は企業・住民に共通した要望です。道がわかり</p>
---	--

<p>い貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>にくいまちで来訪者に対するホスピタリティーが向上します。</p> <p>② 住民も企業も情報発信する場がないため、これまで交流がはかれなかったが、掲示板を設置することで企業からの情報発信だけでなく、住民の声や職場体験の報告など双方向性のコミュニケーションに活用できるようになります。</p> <p>③ ワークショップのヒアリングの中で工場が建ち並ぶこの地域のイメージはこれまで明るいものではなかったことがわかりました。そこでシンボルマークを公募したり、ポイントアートを設置してまちに“新しい”“面白い”要素を加えます。</p>
--	--

## 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p>	<p>材料は準工業地域の企業で調達可能です。当事者意識をもって関わっているためコストを圧縮して製作することが可能です。</p> <p>施工は企業マッチング会で知り合った企業の協力を得ることになっています。</p> <p>マップ設置場所の整備は地元の子もたちと一緒にいき、花壇を作るなど空間創りを実際に行うことで「東山田エリアマップ」に愛着を持つことができます。</p>
--------------------------------------	--

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>これまで子どもたちと関わることで、大人にも多くの気づきがありました。「まち探検」では、目を輝かせて工場見学する子どもたちをみて仕事に誇りを持てたり、ものづくりの大切さに気づかされてきました。今回の整備を通じて、子どもから見た企業、まちの魅力の発信を行うことにより、これまで関心のなかった企業の中にもっとまちをよくしようという風潮が広がります。住民は企業を理解することによって安心して暮らせるようになり、まちにもっと興味を持つでしょう。</p> <p>この整備をきっかけに住民と企業が接点を持ち、まずは会話と協働が発生し、コミュニティが生まれる。その結果としてお互いにまちの魅力に気づくことで、この地域ならではのまちづくりに発展させたいと思います。</p>
---	--

## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>【今後の展開】</p> <p>「つづきっず、はい!」は2016年6月に一般社団法人に移行する予定です。そこにまちづくり委員会を設置し、住民と企業が共生し、住みやすさと働きやすさを向上させる活動に取り組みます。</p> <p>【一般市民と企業市民のまちづくりの取り組み】</p> <p>初めは一社から始まった活動でしたが、この整備提案をきっかけに、企業の地域への関わり方を見直す仲間ができました。これまで接点がなかった一般市民と企業市民が交流する機会が持て、今後のこの地域ならではのまちづくりを考えていく活動の輪を広げていきたいです。</p>
-------------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報が含まれていません。

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
製作費	エリアマップ	1台	900,000円	900,000円	マップ面、企業プレート等の制作は中学生等の参加による(一部材料は企業より提供予定)
	情報掲示板	3台	180,000円	540,000円	
	情報掲示板マップ面等制作	3枚	50,000円	150,000円	マップ面等の制作は中学生等の参加による(一部材料は企業より提供予定)
	ポイントアート	6枚	80,000円	420,000円	表示面の制作は中学生等の参加による(一部材料は企業より提供予定)
施工費	エリアマップ基礎工事	1か所	300,000円	300,000円	
	情報掲示板基礎工事	3か所	80,000円	240,000円	
	ポイントアート取付工事	6か所	20,000円	120,000円	
	エリアマップ周辺土工事	1式	140,000円	140,000円	
	施工諸経費(処分費等含む)	1式	120,000円	120,000円	
材料費	インターロッキングブロック	20m <sup>2</sup>	6,000円	120,000円	敷設及び植栽等の移植をメンバー及び住民参加で実施予定
	敷砂	20m <sup>2</sup>	3,000円	60,000円	
	モルタル	20m	2,000円	40,000円	
実施設計費	-	1式	150,000円	150,000円	
合 計				3,300,000円	

# (1) 位置図







《広域図》



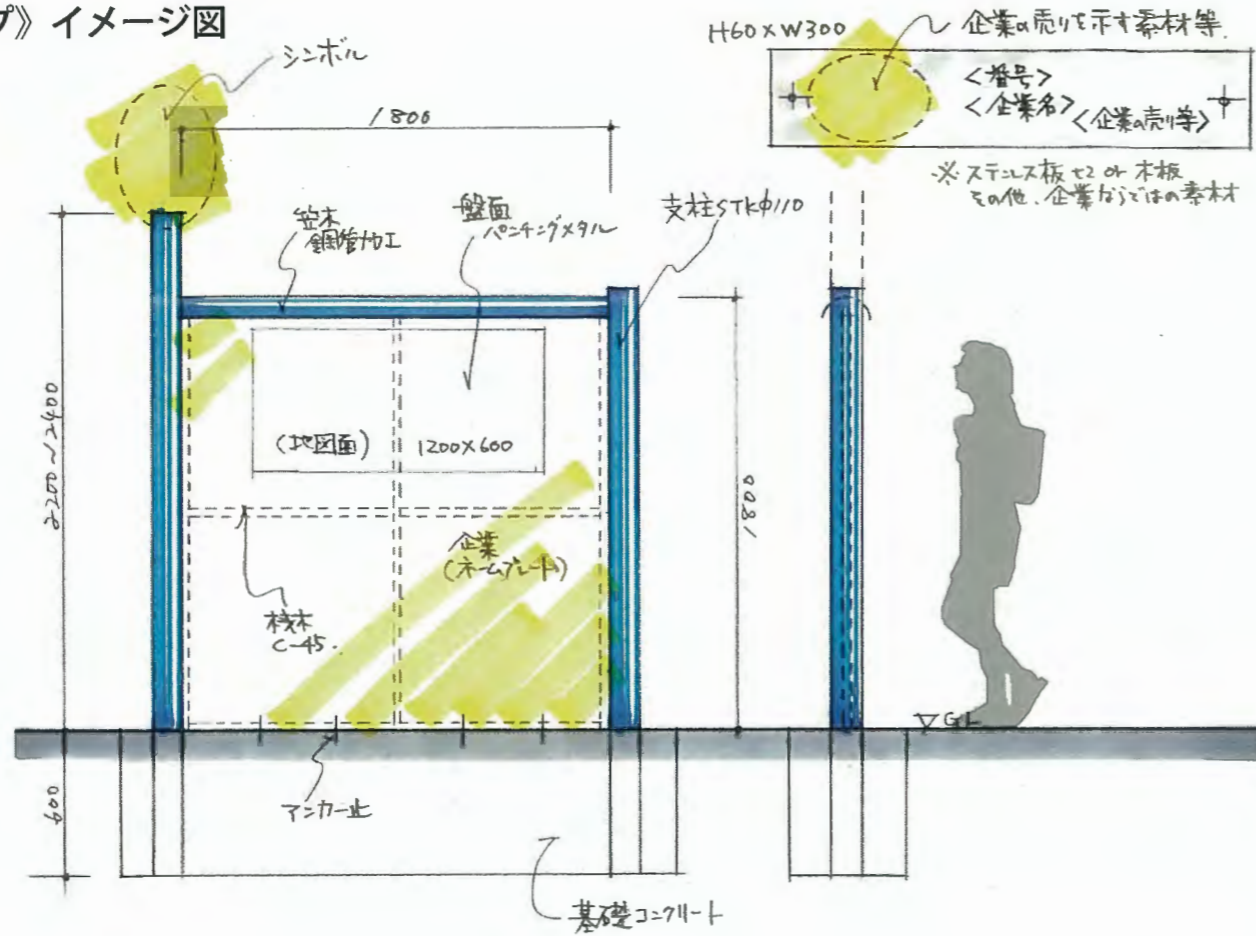
《整備計画図》

## 《凡例》

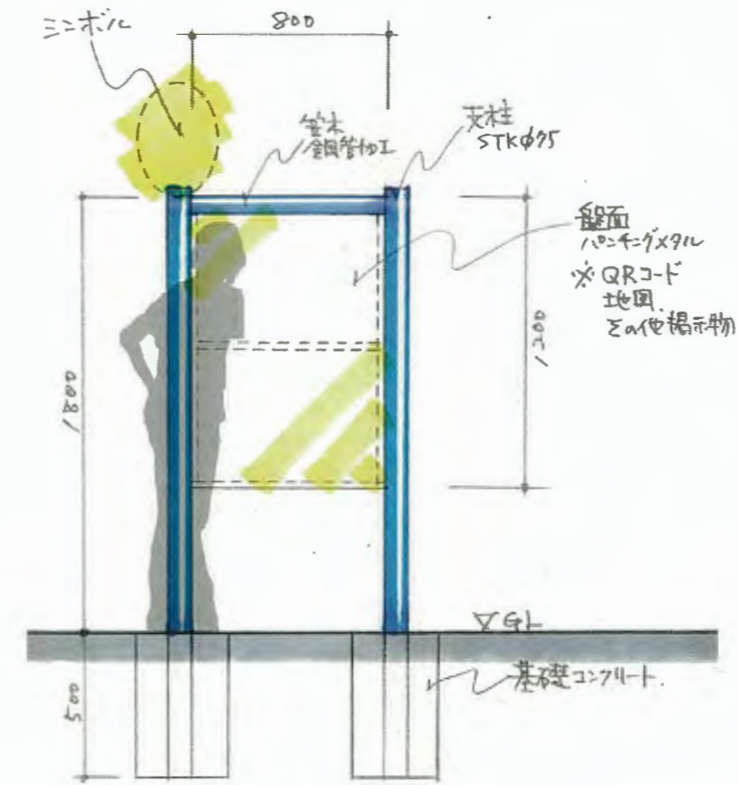
-  東山田準工地域
-  エリアマップ (1か所)
-  情報掲示板 (3か所)
-  ポイントアート (6か所)

エリアマップ  
及び周辺の整備

《エリアマップ》イメージ図

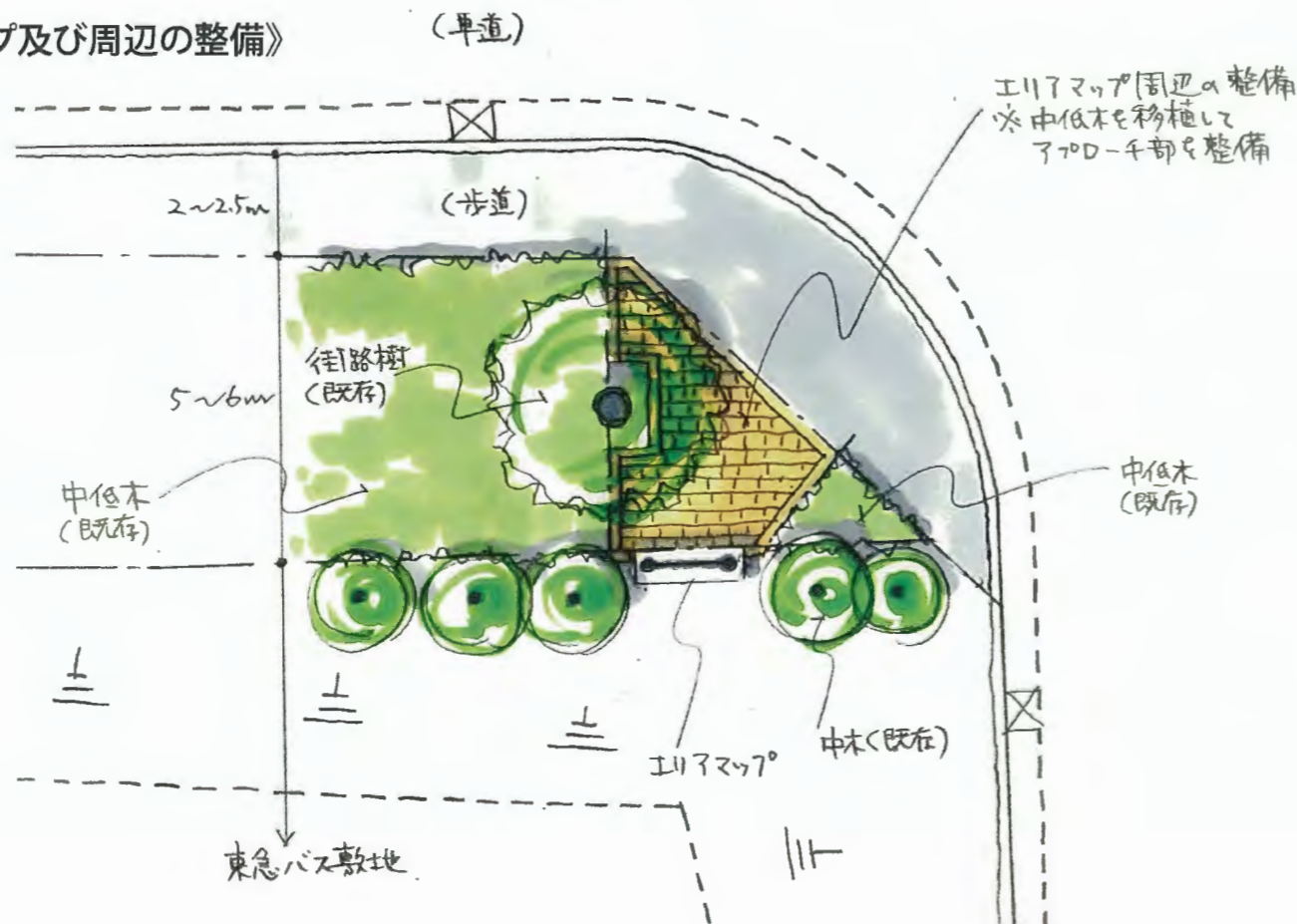


(2) 平面図 (姿図)



《情報掲示板》  
イメージ図

《エリアマップ及び周辺の整備》  
平面図



ex. じいちゃん  
企業ロゴの道具  
素材  
まちの歴史、自然  
など...



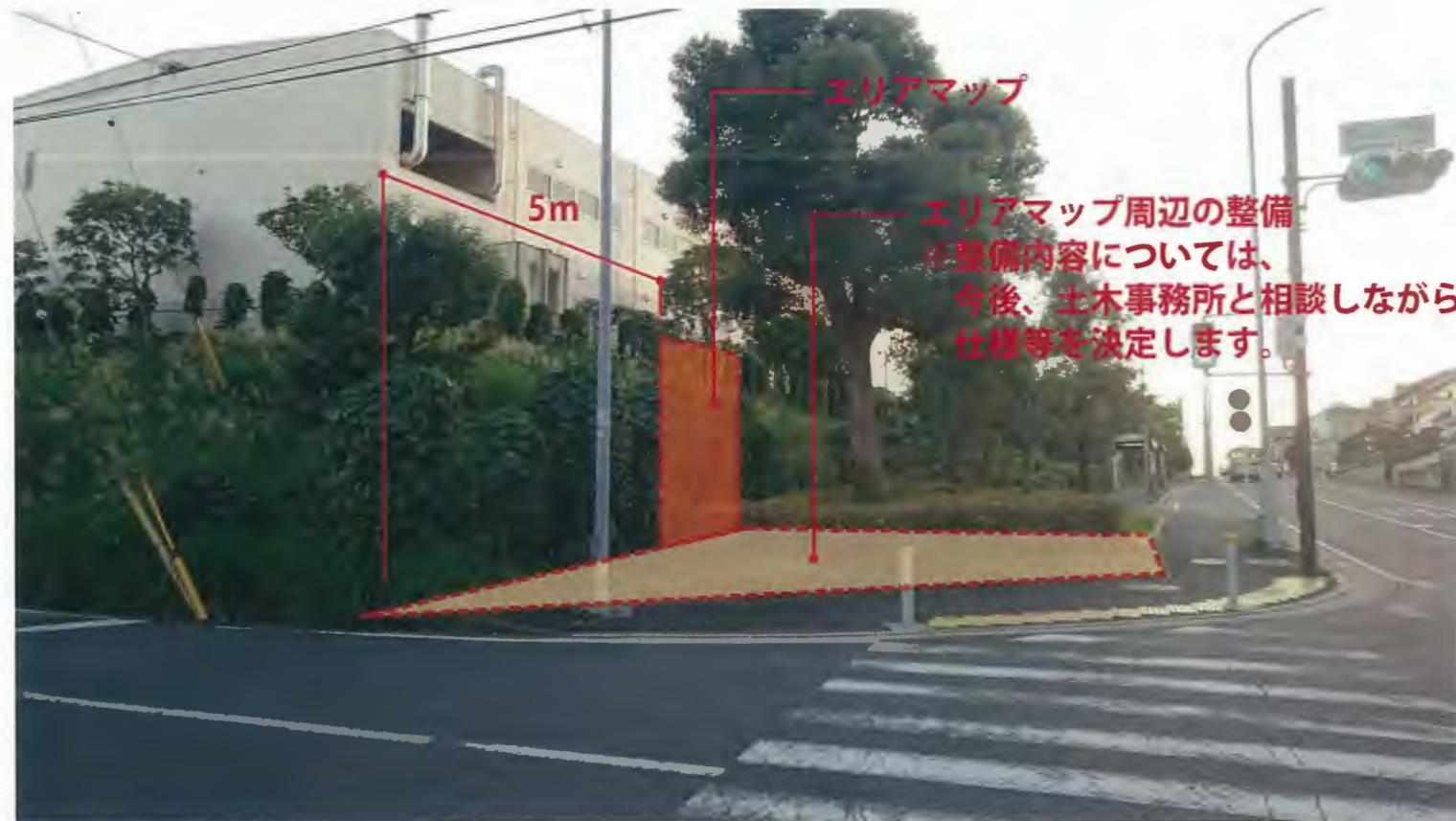
ステンレス板 t3 φ600  
※取付位置により  
取付方法を検討。  
※表示面  
直接描画のレーザーカット  
(ペン等) のイメージ等。



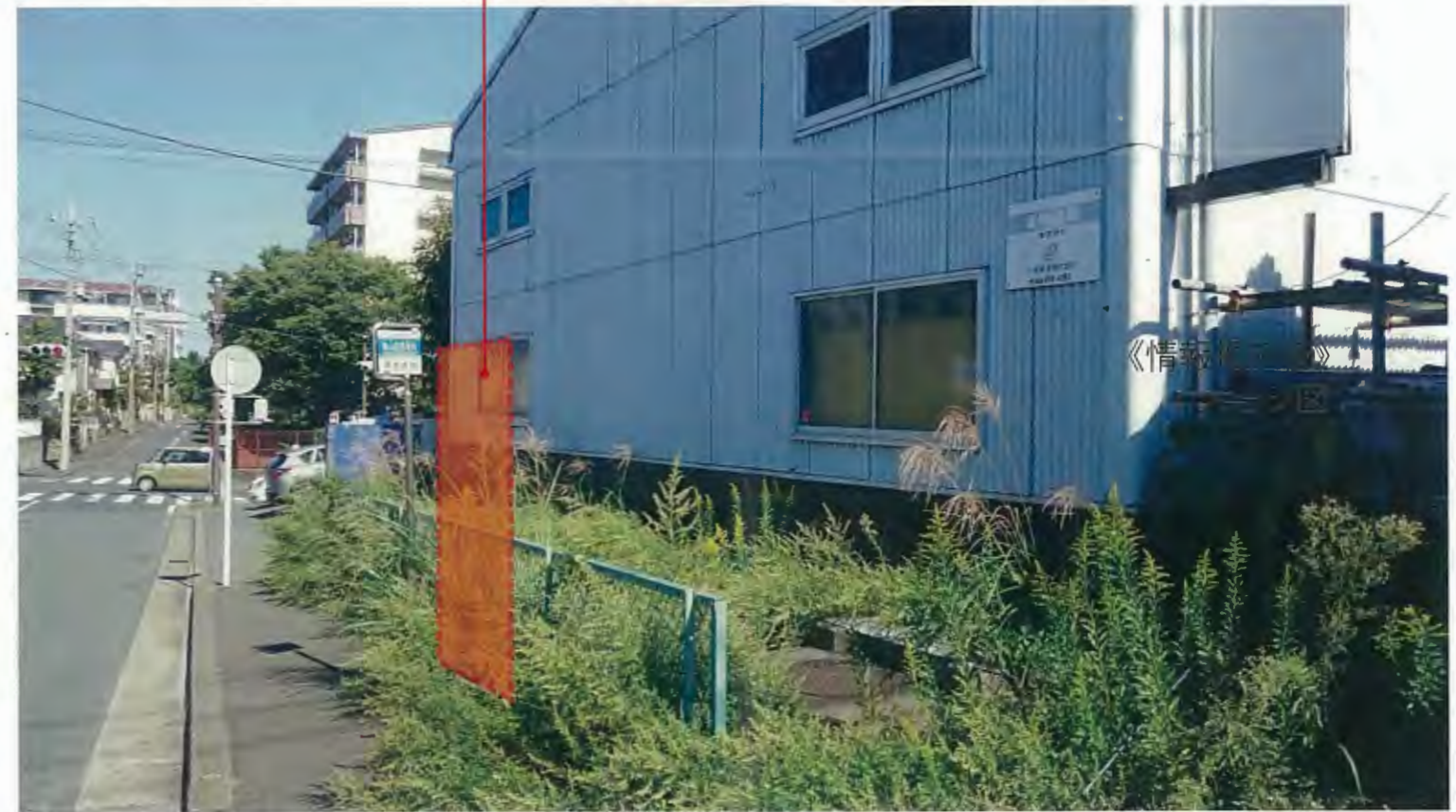
《ポイントアート》  
イメージ図

### (3) 完成予想図

《エリアマップ及び周辺の整備イメージ》



《情報掲示板設置イメージ》



《ポイントアート設置イメージ》



ポイントアート  
(既存フェンス等を活用)

